

令和3年

第1回教育委員会定例会会議録

令和3年1月7日

水戸市教育委員会

令和3年第1回教育委員会定例会

1 開催日時 令和3年1月7日(木) 午後4時56分 開会
午後5時26分 閉会

2 開催場所 水戸市役所 4階 中会議室4

3 出席者 教育長 志田晴美
委員 東小川昌夫(教育長職務代理者)
委員 富田教代
委員 篠崎和則
委員 丸山陽子

4 欠席者 委員 なし

5 説明のため出席した職員の職、氏名

教育部長	増子孝伸
総合教育研究所長	春原孝政
参事(県費負担教職員担当)	橋義孝
参事(学校施設・ICT環境整備担当)	菊池浩康
参事兼教育企画課長	三宅修
参事兼幼児教育課長	鈴木功
参事兼歴史文化財課長	白石嘉亮
学校管理課長	細谷康之
学校保健給食課長	小川佐栄子
学校施設課長	和田英嗣
生涯学習課長	野澤昌永
放課後児童課長	大和敦子
中央図書館長	松本崇
総合教育研究所副所長	湯澤康一

6 傍聴人 なし

7 本日の日程

(1) 報告

- ① 令和3年水戸市成人の日式典の延期について【公開】
- ② 令和2年第4回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について【公開】

(2) その他

- ① 35人学級導入への対応について【公開】
- ② 水戸市立博物館開館40周年記念特別展「昭和浪漫 思い出の宝石箱」の開催について【公開】
- ③ ICT教育の取組状況について【公開】

8 会議の概要

午後4時56分 開会

○志田教育長 新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

それでは、ただいまから、令和3年第1回教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、日程についてでございますが、本日、報告(1)令和3年水戸市成人の日式典の延期について、及び、その他(1)35人学級導入への対応についてを日程に追加しておりますので、御承知お願いたします。

それでは、初めに、報告を行います。

報告(1)令和3年水戸市成人の日式典の延期について、説明願いたします。

野澤生涯学習課長。

○野澤生涯学習課長 それでは、令和3年水戸市成人の日式典の延期について、御報告いたします。

令和3年水戸市成人の日式典につきましては、新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策を十分に講じた上で、令和3年1月10日の日曜日に開催を予定しておりましたが、市内における急激な感染拡大の状況が見られること、また、緊急事態宣言が予定されている都県との往来に伴う感染リスクが懸念されることなどを踏まえまして、延期とすることに決定をいたしましたので、御報告をいたします。延期の時期につきましては、現在検討中でございます。

○志田教育長 それでは、委員より御質問等がございましたら、発言願いたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 ないようでございますので、この件について終わります。

次に、報告(2)令和2年第4回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について、説明願いたします。
増子教育部長。

○増子教育部長 それでは、資料の1ページをお開き願いたします。

報告事項(2)令和2年第4回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について、御説明をさせていただきます。

初めに、1の会期でございますが、令和2年12月7日から12月22日までの16日間でございます。

2の本会議の状況につきましては、4会派、3議員から発言通告がございました。

質問及び答弁内容につきましては、学校教育部門がICT教育、少人数学級、屋内運動場へのエアコン設置など6項目8件、社会教育部門が中央図書館のあり方についての1件、子育て支援部門が開放学級及び保育士確保策についての2項目2件でございます。

2ページをお開き願いたします。

主なものについて、御説明させていただきます。

ICT教育についての御質問に対しましては、今年度中の1人1台端末や高速・大容量通信ネットワークの整備に向けて取り組んでいることや、今後整備されるICT機器を効果的に学習に生かしていくことが重要であり、単なる操作方法の習得ではなく、考える力の育成など人間性を磨き上げるために活用を図っていくことなどについて答弁しております。

また、臨時休業が生じた際や不登校児童生徒などに対しても、家庭や子どもたちと学校をつなぎ、双方向のオンライン授業等の遠隔授業により、学びを保障する環境づくりを推進することや1人1台端末を一層有効に活用するため、普通教室への大型モニターの整備やICT支援員の増員を図っていくことなどについて答弁しております。

続きまして、5ページをお開き願いたします。

屋内運動場へのエアコン設置についての御質問に対しましては、平成30年度までに普通教室及び特別教室については、空調設備の整備を完了しているところですが、体育館につきましては、空調設備の必要性については認識しておりますが、整備に当たっては、効率的な冷暖房を行うために必要となる施設の断熱性能の確保や電気容量の増設など様々な課題があることから、引き続き調査、研究を進めていくことなどについて答弁しております。

続きまして、8ページをお開き願います。

学力向上についての御質問に対しましては、令和元年度に実施されました県学力診断のためのテストの結果を県平均正答率と比較いたしますと、小学校6年生の4教科平均では、マイナス3.4ポイント、中学校3年生の5教科平均では、プラス0.3ポイントの結果となりましたが、その要因を分析いたしますと、根拠をもとに自分の考えをまとめ、説明する力が不足している傾向が見られたことや、これまでの知識だけを教え込む授業から、学んだことを日常生活に応用できる力を身につけるための授業への転換の必要性について認識していることなどについて答弁しております。

また、本年度から中核市として、若手教員や中堅教員を対象とした本市独自の研修の実施や指導主事による定期的な訪問指導に加え、学校からの要請に応じ、指導主事が模範授業を行うなど、授業の改善に努めていることなどについて答弁しております。

続きまして、11ページをお開き願います。

開放学級についての御質問に対しましては、最も多くの待機児童が生じていた梅が丘小学校で実施した民間活力活用モデル事業の成果等を踏まえ、今年度、学級数の約半数に当たる35学級の開放学級及び放課後子ども教室の民間委託を実施し、開放学級の待機児童ゼロを初めて達成したことや、今後においても、開放学級のニーズが高まることが予想されますので、待機児童ゼロの継続を目指し、速やかに民間委託の全市拡大を進めていく考えであることなどについて答弁しております。

続きまして、14ページをお開き願います。

I C T教育についての御質問に対しましては、現在、G I G Aスクール構想の早期実現に向け、児童生徒1人1台のタブレット端末や高速・大容量の校内情報通信ネットワーク、さらには、通信環境がない家庭に貸し出すモバイルルーターの整備を進めていることや市内全ての学校長を対象に、文部科学省が委嘱するI C T活用教育アドバイザーによるオンライン研修や教員対象のタブレット端末を活用した授業公開など、研修の充実に努めており、さらに、市内を5ブロックに分け、学校長から推薦された教員をG I G Aスクールプロジェクトリーダーに任命し、授業におけるタブレット端末の効果的な活用事例についての研究を進めていることなどについて答弁しております。

また、I C T支援員につきましては、現在4名を配置しておりますが、今後は、約2万台のタブレット端末が整備されますので、I C T支援員の大幅な増員について検討していくことや、不登校児童生徒に対してのデジタル教材を活用したオンラインによる学習支援や、学校と外部施設を接続しての施設見学、外部講師による遠隔授業など、I C T機器を最大限に活用した様々な取り組みについて検討を進めていくことなどについて答弁しております。

その他、詳細につきましては、お目通しいただきたいと思います。

以上でございます。

○志田教育長 それでは、委員より御質問等がございましたら、発言願います。

丸山委員。

○丸山委員 15ページですが、現在I C T支援員が4名配置されておりますが、約2万台のタブレット端末が整備されることから大幅な増員を検討されているとのことですが、どれぐらいの人数を

計画されているのでしょうか。

○志田教育長 湯澤総合教育研究所副所長。

○湯澤総合教育研究所副所長 予算要求をしている現段階においては、現在の4名とあわせて10名前後を計画してございます。

○志田教育長 丸山委員。

○丸山委員 2万台に対して、10名でどのように指導していくのでしょうか。

○志田教育長 湯澤総合教育研究所副所長。

○湯澤教育研究所副所長 国の基準としまして、ICT支援員は、4校に1人配置することが目安になっておりますので、それをもとに、順次回れるような形で運用していきたいと考えております。

○志田教育長 4校に1人だと48校ありますので、若干手薄かもしれないですね。現在、予算要求中ですから、10人分の予算がつくかも分かりませんが、さらに必要であればまた検討していきたいと思えます。

ほかにございますか。

富田委員。

○富田委員 14ページ、15ページのICT教育ですけれども、1人1台端末環境においてICT教育を行う際に、仮に小学校で1学年から6学年で一斉に授業を行うことにより、学校の電源は大丈夫なのでしょうか。以前、勤務していた大学で電源が飛んでしまったことがあったものですから。

○志田教育長 菊池教育部参事。

○菊池教育部参事 タブレット端末を使う場合に、電源につないだまま使うのではなくて、タブレットに充電したものを使います。充電は、夜間に行うことになっていまして、さらに、一度にたくさん充電できないように輪番充電といって、40台のクラスがあれば、10台ずつ4つのカテゴリーに分けて充電しますので、電源が落ちることがないように整備しているところです。

○志田教育長 ほかに何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 ないようですので、この件について終わります。

次に、その他に入ります。

その他 (1) 35人学級導入への対応について、順次、説明願います。

まず、細谷学校管理課長。

○細谷学校管理課長 それでは、資料の17ページをお開き願います。

その他 (1) 35人学級導入への対応について、御説明いたします。

初めに、1、35人学級導入の概要でございますが、昨年12月に国が小学校の1学級当たりの上限人数を引き下げ、全学年で35人とする方針を決定したものでございます。

令和3年度から7年度までの5年間で、学年ごとに段階的に実施されるものであり、今月招集される通常国会に義務標準法の改正案が提出される予定となっております。

現行制度では、小学校1、2年生につきましては、義務標準法や国の学級編制の弾力化により、全て35人以下の学級となっております。

また、小学校3年生から6年生につきましても、県の学級編制の弾力化により、それぞれの学年で35人を超える学級が3学級以上ある場合には、学級を増設して35人以下の学級となっております。

続きまして、2、本市における35人学級導入に伴う影響でございますが、本市におきましては、既に現行制度により、今年度は、小学校で約92%の学級が35人以下の学級となっております。

そのため、(1) 教員数につきましては、現行の教員配置基準により、普通学級数をもとに試算いたしますと、35人学級導入による学級数の増加により、新たに必要となる教員数は、教員配置数が最も多くなる令和6年度及び7年度で13人増加する予定となっております。

次の(2) 教室数につきましては、学校施設課から御説明いたします。

○志田教育長 続いて、和田学校施設課長。

○和田学校施設課長 続きまして、35人学級導入に伴う教室数への影響について、学校施設課から御説明いたします。

①の35人学級導入に伴い、対応が必要な学校についてでございます。

本市の小学校のうち、35人学級の導入によって必要となる教室数が増加する学校が一部ございますが、少子化の影響や余裕教室、コンピューター室の転用等により対応が可能と考えておまして、教室数を確保するために増築を行うなど大規模な工事を実施するような対応は必要ないと見込んでおります。

また、②の児童数の増加により校舎増築等を実施している学校についてでございますが、笠原小学校や吉沢小学校など、現在、児童数が増えている学校につきましては、現時点の児童数で既に35人学級となっていることが多く、35人学級導入による大きな影響はないと考えています。

今後も引き続き、児童数の推移を注視し、児童数が増加する場合の教室数の確保について、適切な対応を図ってまいりたいと考えております。

説明は、以上でございます。

○志田教育長 文部科学省では、中学校まで35人学級を実施したかったのですが、そこまでは認められなかったようです。しかしながら、小学校で35人学級が実現できれば中学校も視野に入ってくるのかなという感じはしております。

それでは、委員より御質問等がございましたら、発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 ないようですので、この件について終わります。

次に、その他(2) 水戸市立博物館開館40周年記念特別展「昭和浪漫 思い出の宝石箱」の開催について、説明願います。

白石参事兼歴史文化財課長。

○白石参事兼歴史文化財課長 それでは、水戸市立博物館開館40周年記念特別展「昭和浪漫 思い出の宝石箱」の開催について、御説明いたします。

今回、昭和30年代から40年代の暮らしの変化に焦点を当てまして、特別展を開催するものでございます。

会期は、令和3年2月6日土曜日から3月14日日曜日まででございます。月曜日は休館でございます。

会場は、水戸市立博物館の3階と4階の展示室でございます。

主な展示資料といたしましては、旧水戸市役所南三の丸庁舎の写真パネルや航空写真、昭和40年頃の水戸駅周辺の模型及び商店街のチラシなどを展示いたします。

入場料といたしましては、一般の方は200円でございます。18歳以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方などは無料となっております。

主な関連行事といたしましては、オープニングのイベントや観察会の座学、工作ワークショップなどがございます。

詳細につきましては、お手元にチラシを配布しておりますので、そちらを御覧ください。
説明は、以上でございます。

○志田教育長 それでは、委員より御質問等がございましたら、発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 ないようですので、この件について終わります。

次に、その他(3)ICT教育の取組状況について、説明願います。

湯澤総合教育研究所副所長。

○湯澤総合教育研究所副所長 資料の21ページを御覧願います。

その他(3)ICT教育の取組状況について、御説明いたします。

1、1人1台端末及び校内LAN整備について、(1)整備内容につきましては、児童生徒1人1台の学校教育用タブレット端末の配備、校舎内への通信速度1Gbpsのネットワークの整備、また、各普通教室等へのタブレット端末を充電保管するキャビネットを設置するものです。

(2)整備状況でございますが、①タブレット端末は、HP Chromebook 11.6インチ、Google Chrome OSです。右側に写真がありますが、ノートパソコンとしても使用できますし、一番右の写真のように、画面部分が360度回転しますので、画面部分とキーボード部分をくっつけてタブレットのように使用することもできます。

購入台数は、2万500台、付属ソフトは、ベネッセ「ミライシード」で、納入期限は、令和3年2月19日です。

ネットワーク整備につきましては、令和3年3月を目途に、校舎内のLANケーブル等の整備工事を実施しております。

(3)その他、通信環境のない家庭に対し、貸し出すためのモバイルルーター2,000台を購入いたします。

2、GIGAスクールに関連する組織等、(1)GIGAスクールプロジェクトリーダーでございますが、市内5ブロックの学校長から推薦されたICTに長けた教員等17名をGIGAスクールプロジェクトリーダーとして任命し、ICTを使った効果的な授業の研究等を行っております。今後は、GIGAスクールプロジェクトリーダーが各ブロック内の校内研修の講師として研修を実施してまいります。

(2)GIGAスクールサポーターでございますが、ICT関係企業のOBなどICT環境整備等の知見を有する者10名を令和2年12月から総合教育研究所に配置し、児童生徒や教員用のアカウントの作成や児童生徒用の使い方ハンドブック、教員用の活用マニュアル等の作成を行っております。今後、各学校で教員等への使用方法の周知や端末の納品における対応等を行ってまいります。

3 教員のICTの活用目標でございます。

(1)Stage1は、今年度中に全教員が活用できるようにするもので、大型提示装置への教材の提示、インターネットによる調査活動、カメラによる撮影、QRコードの読み込み、AIドリルの活用を図るとともに、非常時における活用として、ウェブ会議システムGoogle Meet等の接続により、オンラインで授業を行えるようにするものでございます。

(2)Stage2は、令和3年度中には全教員が活用できるようにするもので、意見整理、発表や話し合い等に授業支援ソフトを活用すること、また、振り返りなどにアンケート機能を活用できるようにします。

(3)Stage3は、令和4年度中には、全教員が活用できるようにするもので、AIドリルの

取組から苦手箇所を踏まえたテストや補習、個別指導などを行えるようにする、また、蓄積された授業や学習データを活用した学習を行えるようにするものです。

4、教員研修でございますが、表にございますように、管理職研修、リーダー研修、教職員共通研修をそれぞれ実施してまいります。

また、一番下の段でございますが、ICTを活用した公開授業をICT教育の先進校である、小学校1校、中学校1校で実施いたしました。

説明は、以上でございます。

○志田教育長 それでは、委員より御質問等がございましたら、発言願います。

東小川委員。

○東小川委員 このタブレット端末は、子どもが自宅へ持ち帰ることができるのでしょうか。

○志田教育長 湯澤総合教育研究所副所長。

○湯澤総合教育研究所副所長 現在、国においても、対面指導と遠隔オンライン教育とのハイブリット化による指導の充実など、ICTのもつ可能性についての検討が進められております。そのような国の動向を踏まえ、例えば、長期休業期間中に実験校で持ち帰るなど、タブレット端末の持ち帰りのルールづくり等を含め、ICT機器をより効果的に活用できるよう検討を進めてまいります。

○志田教育長

東小川委員。

○東小川委員 落としたり無くしたり、いろいろ心配な面はあるのでしょうかけれども、学校に来て、さあ授業だからタブレット端末を開いて使ってでは習熟がスムーズにいかないと思います。やはり家へ持ち帰る。一斉休校になったときに、タブレット端末を学校に取りにおいでと言うのは、ちょっと違うような気がするのですよね。だから、状況を考えて様々な設定をしなくてはならないと思うのです。充電のことも、先ほどお話がありましたが、ランドセルの中に小学生がタブレット端末を入れて持ち運びできるような形を考えられたらいいかなと私は思っています。

○志田教育長

丸山委員。

○丸山委員 タブレット端末のサイズは、ランドセルに収納できるのでしょうか。そうすると、教科書等の忘れ物が問題になると同時に、タブレット端末を家に忘れてくるということは、今後は致命的な忘れ物になりますね。

○志田教育長 現在、どういう場合にタブレット端末を持ち帰るのかというシミュレーションを行っているのですよね。

春原総合教育研究所所長。

○春原総合教育研究所所長 ただ今御説明させていただいたように、今年度中に端末が導入されまして、できれば夏休みに各学校で試験的に持ち帰るような取組をしまして、2学期以降、持ち帰れるような体制を整えていけたらいいなということでは考えております。

御意見をいただきましたように、持ち帰りの際に、壊してしまった場合とか、そういう部分についての約束ごとはきちんと決めて実施しなければいけないというふうに考えております。

○志田教育長

東小川委員。

○東小川委員 持ち帰るとするのは、保護者への啓発があると思うのです。子どもが持ち帰ってきたタブレット端末を見て、子どもが今何をやっているのかを保護者がわからないと、理解が進まな

い。そんなことをやっているのだったら、塾へ行ってきなさいという話になってしまう。今子どもがやっていることを保護者が見て、安心するようなシステムを加えてほしいなと思いますので、ぜひよろしくをお願いします。

ほかに何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 ないようですので、この件について終わります。

以上をもちまして、本日の案件につきましては、全て終了いたしました。

その他、何かございますか。

三宅参事兼教育企画課長。

○三宅参事兼教育企画課長 それでは、お手元に配付しております、次回以降の教育委員会会議等日程（案）について、御説明をいたします。

ゴシック体の部分が今回追加、又は変更があった日程でございます。

初めに、2月4日木曜日についてですが、第2回目の総合教育会議を午後4時から開催予定でございます。それに伴いまして、第2回定例会につきまして、時間を総合教育会議終了後に変更いたします。場所については、本日と同じ中会議室4でございます。

なお、総合教育会議のほうは、第1回のときに触れましたけれども、今回、ICT教育に特化して協議を行ってまいりたいと考えております。

次に、第1回臨時会、第2回臨時会でございますが、日時の詳細は決定次第、改めてお知らせをいたします。

続きまして、令和2年度末教職員辞令交付式が3月31日水曜日午後3時から、令和3年度始め教職員辞令交付式が4月1日木曜日午後1時30分から、いずれも総合教育研究所視聴覚ホールで予定をされております。

次に、第4回定例会でございますが、4月8日木曜日午後5時から、本日と同じ中会議室4で開催予定でございます。

以上となります。よろしく願いいたします。

○志田教育長 その他、何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 ないようでございますので、それでは、以上をもちまして、本日の定例会を閉会いたします。

御苦勞様でした。

午後5時26分 閉会